

令和 1 年度の JESCO 施設における「長期保全計画」の取組み状況について

1. 長期保全計画の作成について

当社では、平成 26 年 6 月に変更された「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画」に基づき、処理設備の経年的な劣化に対応するため、長期保全計画を策定し、この計画に沿って設備や部品等の補修・更新を実施することにより、処理施設の安定操業に努めている。なお、長期保全計画については、毎年度実施している定期点検における点検・補修結果や日常点検の結果等を踏まえて図 1 に示すような PDCA サイクルによる見直しを行い、処理設備の状況に応じた適切な保全に努めている。

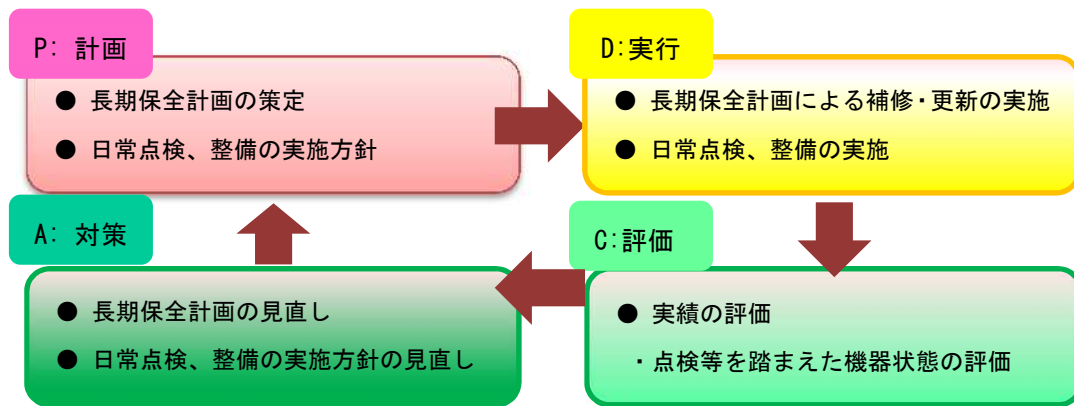


図-1 長期保全計画のPDCA

2. 各PCB処理事業所における長期保全計画の実施状況

各PCB処理事業所の「長期保全計画」に基づく令和元及び2年度の主な経年劣化対策工事の実施項目及び令和2年度以降の予定項目を以下に示す。

(1) 北九州PCB処理事業所（別紙1 表-1、表-2参照）

1) 第1期処理施設

令和元年度には、解体撤去時に引き続き使用することを予定している用役・換気空調設備及び特高（66kV）受変電設備の老朽化対策、建屋の老朽化補修を実施した。

令和 2 年度も引き続き、用役・換気空調設備及び特高（66kV）受変電設備の老朽化対策、建屋老朽化補修を計画し、実施している。

2) 第 2 期処理施設

プラズマ熔融分解設備は、令和元年度に 1 系・2 系設備とも分解炉ダクトの耐火物補修、インナーシュートの缶体更新を実施した。

令和 2 年度は、引き続き分解炉ダクトの耐火物補修、水冷ダクトの缶体更新を計画し、実施している。

共通設備では、令和元年度に計装用空気圧縮機、窒素用圧縮機の部品交換、OLM 装置の更新、VTR 設備では液系配管の更新を実施した。

令和 2 年度も引き続き計装用空気圧縮機、窒素用圧縮機の部品交換、VTR 設備の配管更新を計画し、実施している。

(2) 豊田 PCB 処理事業所（別紙 1 表－3 参照）

令和元年度には、蒸留設備の第 1 蒸留塔真空ユニットの部品の更新及び点検整備、解体設備の破砕機（大型）の点検整備を実施した。

令和 2 年度は、用役設備、蒸留設備、解体設備等の点検整備を計画し、実施している。

(3) 東京 PCB 処理事業所（別紙 1 表－4 参照）

令和元年度には、解体分別設備の液中切断装置の劣化部品更新、洗浄設備の弁交換、換気空調設備の更新等を実施した。

令和 2 年度は、水熱分解設備の弁整備及び交換、計装設備のシーケンサー更新等を計画し、実施している。

(4) 大阪 PCB 処理事業所（別紙 1 表－5 参照）

令和元年度には、VTR-C 号機の第 1 オイルクーラー更新、前処理設備の蒸留塔の点検・清掃、液処理設備の熱交換器の部品交換等を実施した。

令和 2 年度は、洗浄装置の超音波振動子交換、VTR 設備のオイルクーラーの更新等を計画し、実施している。

(5) 北海道 PCB 処理事業所（別紙 1 表－6～表－8 参照）

1) 当初施設（トランス・コンデンサ処理設備）

令和元年度には、洗浄装置のシリンダー等の交換、真空加熱炉の弁等の交換、オンラインモニタリング設備（1 系統）の更新等を実施した。

令和 2 年度は、真空加熱炉の部品の交換、冷却等の補修等を計画し、実施している。

2) 増設施設（プラズマ熔融分解設備）

令和元年度には、恒温チャンバ（1 スパン）の耐火物の更新、1 系プラズマ電源装置のオーバーホール、分析設備のチリングユニットの部品更新等を実施した。

令和 2 年度は、分解炉ダクトの耐火物更新、2 系プラズマ電源装置のオーバーホール、オンラインモニタリング設備（1 系統）の更新等を計画し、実施している。

以 上